

NEDO先導研究プログラム

NEDO担当部：フロンティア部
経済産業省担当課：
イノベーション・環境局 イノベーション政策課
フロンティア推進室、GXグループ GX投資促進
課 エネルギー・環境イノベーション戦略室

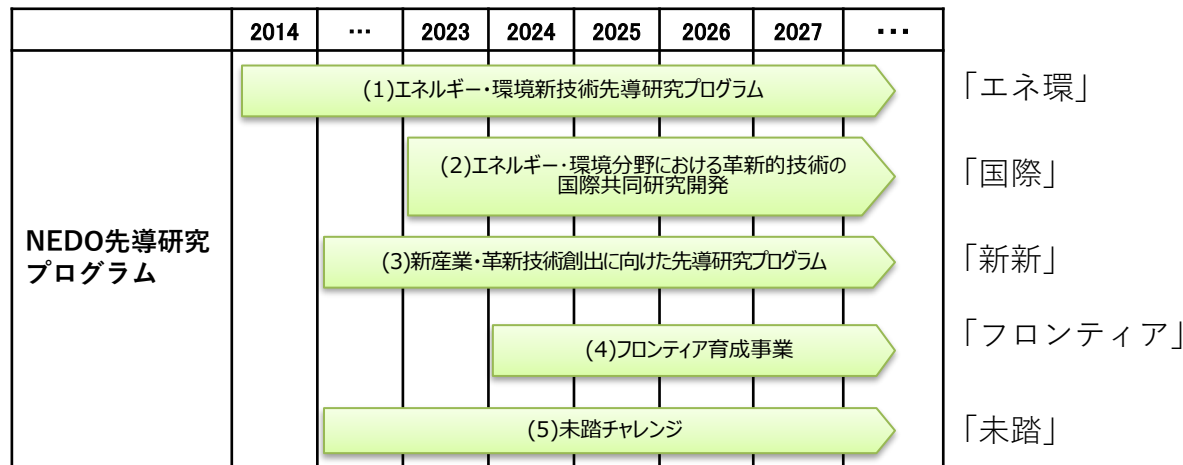
概要

(1) 事業目的

本事業は、脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、課題の解決に資する技術シーズを発掘し、必要な場合には海外の研究機関等とも連携しつつ先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくための要素技術を発掘・育成することを目的とする。

(2) 事業内容

公募により選定された技術シーズについて、海外の研究機関等とも連携しつつ先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくための要素技術を育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげることを目指す。



(3) 事業形態

- 事業期間：2014年度～
- 予算金額：76.2 億円（2026年度）
【一般、需給、需給（GX）】
- 支援形態：委託
- NEDO根拠法：第15条第1号、第2号及び第9号

事業紹介



政策・他事業との関連

- 本プログラムは、国家プロジェクトを含む産学の共同研究等につなげていくため、委託事業を実施することとしており、既存のNEDOプロジェクトとの重複はない。
- JST（A-STEP及び未来）の成果を先導研究につなげるべく（未踏チャレンジに係る逆方向も然り）、定期的に意見交換を実施する。

達成目標

(1) アウトプット目標

脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、2040年以降に実用化・社会実装が期待される要素技術を公募により発掘し、海外の研究機関等とも連携しつつ先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくための要素技術として育成する。これにより、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげるテーマを創出する。

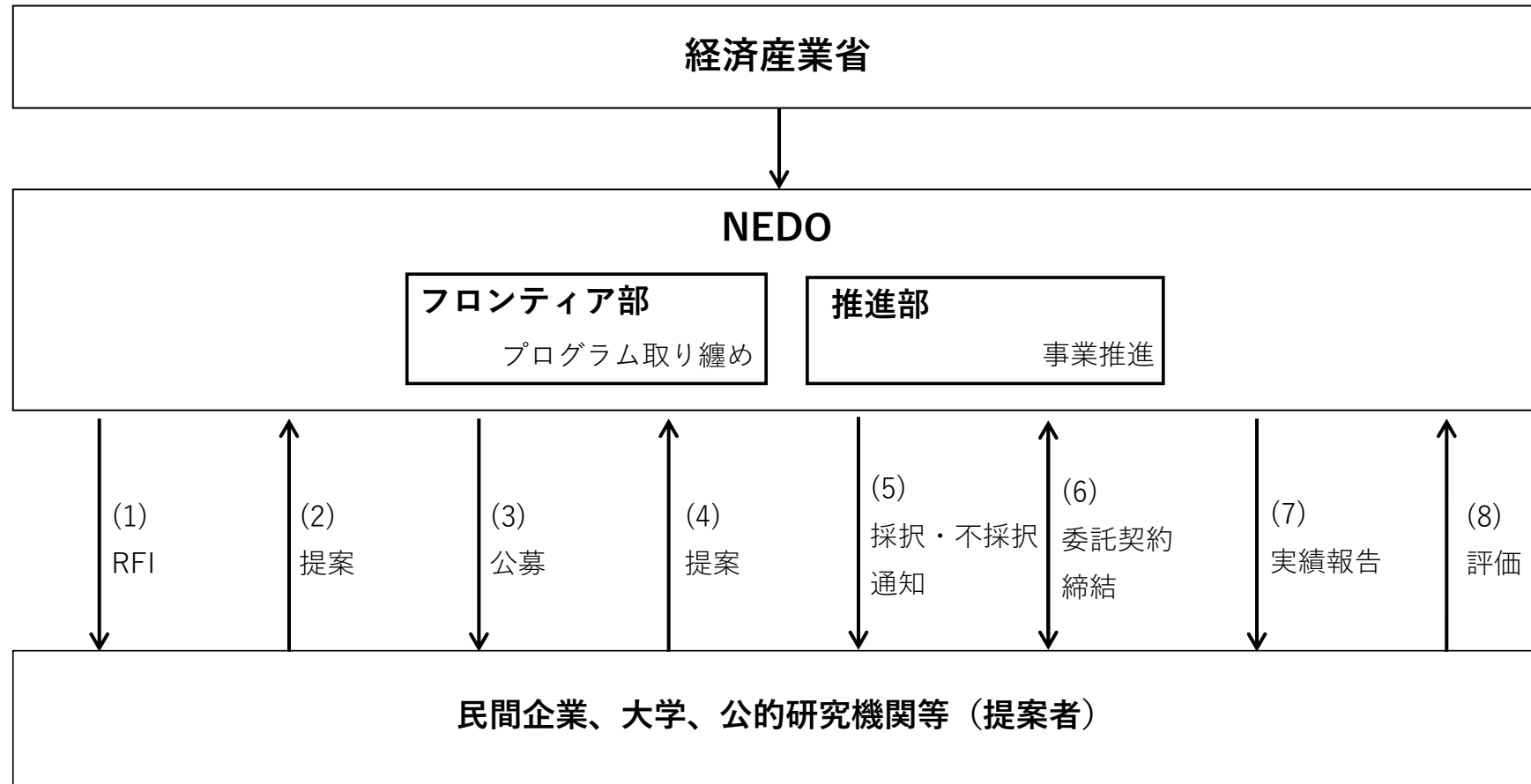
(2) アウトカム目標

技術の実用化・社会実装に向けて、先導研究で発掘・育成した技術シーズを、産学連携体制の下で行う国家プロジェクトに発展させること、より早期の実用化が期待される技術シーズについては、民間企業主導による共同研究やスタートアップの創出等につなげることを目指す。

(アウトカム目標達成に向けての取組)

- 公募に当たっては、情報提供依頼（Request for Information）を活用するとともに、TSCのイノベーション戦略・調査等や経済産業省の政策・施策を研究開発課題に反映する。
- 研究開発課題の設定及び研究開発テーマの選定については、革新性及び獨創性や将来的な波及効果を重視する。
- 採択テーマについては、将来の国家プロジェクトやその先の実用化・社会実装を見据えたマネジメントを行う。

実施体制（スキーム）



* 各年度の課題と採択テーマ <https://www.nedo.go.jp/content/800029514.pdf>

スケジュール

	2014	～	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
エネルギー・環境新技術先導研究プログラム（エネ環）		制度中間評価							
新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム（新新） ※2022年度までの「新産業創出新技術先導研究プログラム」及び「マテリアル・バイオ革新技術先導研究プログラム」を含む		制度中間評価			制度中間評価			制度中間評価	
エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発（国際） ※2020～2025年度までの「クリーンエネルギー分野における革新的技術の国際共同研究開発事業」を含む									
フロンティア育成事業（フロンティア）						制度中間評価			制度中間評価
未踏チャレンジ（未踏）		制度中間評価			制度中間評価			制度中間評価	
実績額（億円）	～	～	46.7	—	—	—	—	—	—
予算額（億円）	～	～	—	88.8	(76.2)	—	—	—	—